

かみす市議会だより

□発行／神栖市議会 □神栖市議会だより編集委員会

〒314-0192 茨城県神栖市溝口4991-5 TEL. 0299-90-1172(直) FAX. 0299-90-1116

□ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/general/kamisusi/index.html>



平成23年神栖市消防出初式

1月10日(月)、神栖市文化センターで消防出初式が行われました。

当日は、消防団の皆さんなど多数参加があり、ポンプ操法、一斉放水などを行いました。

おもな内容

- 定例会議決結果一覧……………P. 2
- 一般質問……………P. 3～6
- 委員会での主な質疑内容……………P. 7～8
- 臨時会議決結果一覧……………P. 9
- 行政視察……………P. 10～11
- 市議会のうごき……………P. 12

平成22年神栖市議会・第4回定例会

神栖市議会は、平成22年第4回定例会を12月14日から24日までの会期11日間の日程で開き、条例に関するもの1件、予算に関するもの5件、市道路線に関するもの2件、請願に関するもの1件の審議を行いました。

議案等議決結果一覧

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	神栖市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	平成22年度神栖市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第3号	平成22年度神栖市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	原案可決
議案第4号	平成22年度神栖市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第5号	平成22年度神栖市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	原案可決
議案第6号	平成22年度神栖市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第7号	神栖市道路線の認定について	原案可決
議案第8号	神栖市道路線の廃止について	原案可決
請願第1号	T P P 交渉参加反対に関する緊急請願	継続審査

会議の経過

○十二月一日（水）

議会運営委員会

（議案の取り扱い等）

午後三時開会宣言

午後三時四十七分閉会

九人中九人出席

○十二月十四日（火）

本会議

（開会・主要施策の報告・市長提案理由説明）

午前十時開会宣言

午前十時二十一分散会

二十六人中二十五人出席

○十二月十五日（水）

本会議

（一般質問）

午前十時開会宣言

午後二時二十三分散会

二十六人中二十五人出席

○十二月十六日（木）

本会議

（議案質疑・委員会付託）

午前十時開会宣言

午前十時五分散会

二十六人中二十四人出席

○十二月十七日（金）

休会

総務企画委員会

（付託議案審査等）

午前十時開会宣言

午前十一時九分閉会

七人中七人出席

健康福祉委員会

（付託議案審査等）

午前十一時十分閉会

六人中六人出席

教育環境委員会

（付託議案審査等）

午後二時開会宣言

午後四時十六分閉会

六人中六人出席

都市産業委員会

（付託議案審査等）

午後三時三十分開会宣言

午後四時四十二分閉会

六人中五人出席

○十二月二十四日（金）

議会運営委員会

（請願の取り扱い）

午後一時三十一分開会宣言

午後一時四十四分閉会

九人中八人出席

本会議

（委員長報告・質疑・討論・採決・閉会）

午後二時五十分開会宣言

午後二時四十一分閉会

二十六人中二十五人出席

※なお、本会議休憩中に都市産業委員会を開催し、付託された請願の審査を行いました。



ここが聞きたい

平成二十二年第四回定例会の一般質問は十二月十五日に行われ、三人の議員が市政全般について、市長はじめ関係部課長等に見解を問いました。なお、掲載にあたっては一問一答形式で編集し、要旨を掲載してあります。



柳堀 弘 議員

市税と予算について

問 来年度の予算の規模と主な施策について伺いたい。

(保立市長) 平成二十三年
度予算の規模は、不況の影響により、財源の確保が、依然として厳しい状況にあるが、市民生活への影響を少なくするよう最善の努力を図っていきます。

主な施策は、総合計画における八つの施策大綱に則

し、「市民とともにつくる躍進する中核都市かみす」の実現に向け、積極的に取り組んでいきます。

問 市税の課税状況と収納見込みについて伺いたい。

(阿部総務部長) 今年度十一月末時点での課税状況は、昨年度と比較して、個人市民税がマイナス六・三ポイント、法人市民税がマイナス十六・二ポイントと大幅な減少となる一方、固定資産税は、大規模償却資産分が全額市の課税となることなどから、六・三ポイントの増加となつています。

社会福祉行政について

問 生活保護の実態について伺いたい。

今年度の市税の収入見込みは調定額約二百二十五億円に対し、収納額は約二百八億円を確保できる見通しで、収納率は昨年度を〇・五ポイント上回る九十二・四％と見込んでいます。

(坂本健康福祉部長) 平成二十二年十月現在の保護世帯数は五百三世帯、保護人数は六百四十二人で、五年前と比較すると、保護世帯で九十三人増えて、保護人数で九十三人増えています。

生活保護扶助費の平成二十一年度決算額は十億四千七百九十一万六千七百五十八円で、平成十八年度決算額より、四千八百七十四万五千五百三十三円増加しています。

問 生活保護扶助費の負担割合と市の負担額はどの位なのか。

(坂本健康福祉部長) 生活保護に係る扶助費は、原則四分の三が国で、四分の一が市の負担です。平成二十一年度の市の負担額は二億六千九百九十七万九千七百五十八円です。

問 市には何人のケースワーカーがいて、一人あたり何世帯を担当しているのか。

(坂本健康福祉部長) 現在ケースワーカーは六人で、一人あたり八十四世帯を担当しています。

問 国の基準では、一人あたり八十世帯となつていて、当市でもケースワーカーを増員すべきであると思つが、見解を伺いたい。

(坂本健康福祉部長) 生活困窮者が年々増加傾向にあることから、今後の推移を

勘案しながら、ケースワーカーの増員について検討していきたいと考えています。

問 相談窓口の場所を相談者に配慮して変えるべきではないか。

(坂本健康福祉部長) 相談者のプライバシー保護の観点からも相談窓口の確保について担当部署と協議しており、早期に対応したいと考えています。

教育行政について

問 いじめの実態について伺いたい。

(新谷教育長) 平成二十二年十一月十七日現在の調査で、この四月から市内の小・中学校で学校が把握したいじめの件数は、小学校で七件、中学校で三十六件の合計四十三件です。

問 いじめとどのように向き合い、対応しているのか伺いたい。

（新谷教育長） 各学校においては、文部科学省作成のマニュアル、茨城県教育委員会作成のマニュアル、さらに、学校独自のマニュアルを作成し、いじめ問題の校内研修を行い、児童・生徒のSOSを素早く知ることができるよう、教職員の資質向上に努めています。

また、日常の観察、実態調査や教育相談を実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めており、いじめが発覚した場合には、学校全体で対応しています。

問 学級崩壊の実態について伺いたい。

（新谷教育長） 茨城県教育委員会が実施する調査では、市内の小・中学校で学級崩壊となっている学校は報告されていません。



議員 佐藤 節子

結婚相談のサポート体制について

問 市として結婚相談等のサポート体制をとっているのか。また、民間の団体との連携についても伺いたい。

（野口企画部長） 県が鹿島セントラルビル内に設置したカシマインフォーメーションサロンにおいて鹿嶋市と結婚支援事業を実施しております。また、民間の団体やNPO組織との連携はありません。

問 いばらき出会いサポートセンターについて、市としてもPR等の取り組みが必要ではないか。

（野口企画部長） 市が広報紙等でPRをしてきた経緯

はありませんが、今後はいばらき出会いサポートセンターと調整を図りながら、PR等をしたいと考えています。

問 県は独自の取り組みとして、いばらき出会いサポートセンターの世話人を任命し、結婚相手の紹介を行っているというが、神栖市内にも登録者はいるのか。

（野口企画部長） 現在神栖市からの登録者は二十四人です。

自殺防止対策について

問 神栖市内の自殺者数と他市町村との比較について伺いたい。

（坂本健康福祉部長） 茨城県保健福祉統計年表によれば、自殺者数は、平成十八年は二十六人、平成十九年は二十九人、平成二十年は十四人、平成二十一年は、二十一人です。

また、他市町村との比較ですが、県内各自治体の平成十八年から二十年までの人口十万人当たりの自殺者数は、県内平均が二十四・七人であるのに対して当市は二十五・一人であり、県下四十四市町村中二十四番目です。

問 うつ状態になっていたりするような人たちが悩みを相談できる体制について伺いたい。

（坂本健康福祉部長） 自殺の要因となりやすい健康問題、多重債務、家庭問題、DV、いじめ、心の問題等について、それぞれの所管部署において相談業務などにより対応しています。

問 自殺防止対策について、広報や啓発をどのように取り組んでいるのか。

（坂本健康福祉部長） 地域自殺対策緊急強化事業の一環として、本年度中に小冊子の作成と新聞折り込みによるパンフレットの全戸配布を行い、自殺防止の普及啓発に役立てたいと考えています。

問 自殺する前に、うつの状態で医療機関に受診する方も多いと思うが、精神科のある病院等と連携をとり、家族等へのサポート体制をとるべきだと思いが、市の考えを伺いたい。

（坂本健康福祉部長） 医療機関と連携したサポートを行うには、自殺やうつ病に対する正しい理解と知識を持つ必要があることから、市職員に研修を実施しました。今後も、市職員や民生委員児童委員などを対象とした研修を計画しており、医療機関と連携したサポート体制を整えながら悩みを持つ方々に対応していきたいと考えています。

また、うつ病などの治療について、医療機関の紹介なども行っています。

問 自殺を考えている人のためのホットラインを、ボランティアの協力を得て作るべきと思うが、市の考えを伺いたい。

(坂本健康福祉部長) 電話相談等は、専門的な知識や経験、プライバシーの問題などもありますので、当面は、市の保健師など専門職員による対応や県内の各保健所や精神保健福祉センター、こころの電話相談等への紹介を行いながら、ボランティア活動での対応が可能か検討したいと考えています。

市内中学校での心の教室相談員について

問 心の教室相談員の各中学校における役割、位置づけについて伺いたい。

(新谷教育長) 神栖市中心の教室相談員配置要項には、「生徒の心の悩み等軽微な教育相談、その他必要と認められる業務を行うこと」としており、年度当初の校長会、また教頭会等を通して、各学校に周知徹底を図っています。

命にかかわるような深刻な相談の場合には、担任や生徒指導主事、養護教諭等にも早急に報告をするようにしています。また、必要に応じてスクールカウンセラーとも連携し、学校全体で連携を密にして対応しています。

問 心の教室相談員にはある程度専門的な知識が必要だと思いが、どのような人たちが採用されているのか。

(新谷教育長) 相談員の採用は、教育委員会の職員が複数で面接を行い、適切な人物を嘱託として採用しています。

なお、相談員の研修は、夏季休業中に大学教授を招いた研修会や、年三回教育委員会が主催して、心の教室相談員研修会を実施しています。

問 県より派遣された専門のカウンセラーと各学校の保健の先生との連携はあるのか。

(新谷教育長) 心の教室相談員は、相談の中で、特に

心のかかるような深刻な相談の場合には、担任や生徒指導主事、養護教諭等にも早急に報告をするようにしています。また、必要に応じてスクールカウンセラーとも連携し、学校全体で連携を密にして対応しています。

問 心の教室相談員について、学校の中でよい結果や評価は出ているのか。

(新谷教育長) 平成二十二年度は、十月末現在で相談人数二百四人、相談回数が三百五十一回で、相談の主な内容は、いじめ・進路や学習・友人関係・部活動についてなどです。その中で、心の教育相談員に友人関係の悩みを相談に行き、解決に至ったという事例が報告されています。



長谷川治吉 議員

教育委員会点検・評価について

問 点検・評価の実施経過について伺いたい。

(大槻教育部長) 平成十九年六月の法改正により、平成二十年四月から毎年教育委員会の権限に属する主要な事務の管理及び執行の状況についての点検・評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、市のホームページ等で公表を行っています。

問 評価ランクの基準について伺いたい。

(大槻教育部長) 平成二十年度の点検評価報告書の評価基準は、A・B・Cの三段階評価、平成二十一年度の事業点検評価は、A・

B・C・D・Eの五段階評価です。

問 市民への説明責任について伺いたい。

(大槻教育部長) 市民への周知方法については、市のホームページ等での公表や、中央図書館、公民館の図書室等で行政資料として閲覧を行っています。また、ホームページ等を利用できない方のために、次年度から広報紙を通じて情報提供していきたいと考えています。

緊急通報システムについて

問 利用状況と設置台数、通報件数について伺いたい。

(坂本健康福祉部長) 緊急通報装置の設置登録は二百五十四人、昨年一年間の通報件数は百二十七件、その中で救急隊の緊急出動は三十件、病院への搬送は二十

五件で、その他の通報は誤報となっております。

問 安否確認等の新たな緊急通報システムについて伺いたい。

(坂本健康福祉部長) 当該システムは、鹿島地方事務組合消防本部に緊急通報受付センターを設置し、鹿嶋市と広域共同運用のため、今後両市において協議していきたいと考えています。

地域振興について

問 プレミアム付クーポン券事業の検証について伺いたい。

(保立市長) 第一弾のクーポン券は発売初日で完売、第二弾も初日分は当日で完売し、二日目以降分も翌日完売となっており、市民への消費喚起効果、地域経済に対する効果は十分あったものと考えています。第三弾については、現在検証、分析をしています。

問 より多くの市民が入手できるような販売方法の工夫はしたのか伺いたい。

(関川産業経済部長) 第二弾目以降の販売については、市内六カ所の販売所において休日、平日の分割販売を実施しています。

夜間対応型訪問介護について

問 夜間対応型訪問介護の現状について伺いたい。

(坂本健康福祉部長) 介護保険法により、平成二十二年七月に市内若松中央の事業者を事業所に指定したところですが、現在の利用者は三人です。

問 夜間対応型訪問介護の課題について伺いたい。

(坂本健康福祉部長) 普及しない理由としては、随時訪問サービスを利用する場合、一回につき五百八十単位の介護報酬がかかり、限

度額を超えると一回五千八百円の負担が必要となるなどケアプランが立てにくいことや、サービスを提供する事業所では、利用者が数人でも介護員を待機させなければならぬことや介護員の確保が難しいなどの経営上の課題があります。

問 二十四時間訪問介護の必要性について伺いたい。

(坂本健康福祉部長) 在宅サービスを充実させることは、住み慣れた家で安心して暮らし続けるために必要であることから、市としても積極的にPRしていきたいと考えています。



議会を傍聴してみませんか

市議会はどなたでも傍聴できます。受付で、住所、氏名等を記入するだけです。

どうぞお気軽にお越しください。なお、希望者が定数(38人)を超えた場合は、抽選となることもありますので、ご了承ください。

委員会での主な質疑内容

本会議において議案は所管の常任委員会に審査付託となりました。慎重審査の結果、最終日の本会議において各委員長からいずれも可決すべきものと報告されました。

● 総務企画委員会

(山中正一委員長)

〔議案第一号〕

問 固定資産税の税率を一・四%から一・〇%に引き下げる軽減税率を適用しているが、どの位の減額になるのか。

答 平成二十二年度の軽減税額については、鹿島セントラルホテル千八百三十二万八千八百円、アトンプレスホテル四百三十四万二千七百円であり、十八年度から二十二年度までの五年間では、鹿島セントラルホテル九千二百三十九万二千六百円、

アトンプレスホテル二千二百五十六万一千円です。

〔議案第二号〕

問 新年度からは待機児童の解消がどの程度見込まれるのか。

答 来年度の新規入所児童の応募状況は、受け入れが七百四十一人に対し応募総数が七百二十五人となっており、応募者が少ない状況にあります。が、地域や年齢構成などから若干の待機児童が発生するものと考えられます。

問 民間保育所低年齢児保育体制緊急整備業務委

託料が減額になった理由を伺いたい。

答 当初は十八保育所で予算化しましたが、臨時保育士の確保ができなかった十保育所が実施を見合わせたため、減額補正したものです。

問 神之池用水機場等施設維持管理基金と今後の見通しについて伺いたい。

答 基金は二億五千百五十万円ほど積み立てています。基金の金利が高いつき、利子を運用して施設の維持管理費にできず、金利が低くなったことから茨城県と協定を結んで、鹿島特別会計から平成二十一年度まで補助を受けており、補助が二十二年度からなくなつたため、今後は基金を取り崩しながら運営していくことで考えています。

問 道路維持費の道路補修工事について伺いたい。

答 当初予算では四千八百万円の予算計上し、十一月末までに、百七路線について簡易な補修工事を実施しておりますが、既に四千七百万円を支出しており、今後の補修費として千五百万円を計上したものです。

問 住宅リフォーム助成金の助成対象には、築何年という制限はあるのか。

答 助成の対象には、築何年という制限はありません。工事費が十万円以上で、住宅の構造部分の設備の修繕、模様替え、増築などで市内の施工業者が行う工事が対象となります。

問 用排水路測量設計委託料として五百九十四万円計上されているが、地

区としてはどの辺を考慮しているのか。

答 日川・木崎・溝口・柳川・太田地区を予定しており、総延長では九百二十メートル程度を計画しています。

問 生活保護扶助経費の保護施設事務費について伺いたい。

答 生活保護費を受けている方が、保護施設に入所したときの施設側の事務経費です。

問 不法投棄防止のための移動式監視カメラについて伺いたい。

答 人や車両を感知して自動的に録画できるシステムで、持ち運びが可能な赤外線カメラです。電源は太陽光電池とバッテリー併用で二十四時間監視ができます。

健康福祉委員会

(梅原 章 委員長)

〔議案第三号〕

問 健康福祉部の職員はどれ位いるのか。

答 百六十五人です。

問 健康福祉部関係で土・日及び夜間遅くまで時間外対応していると聞か。現状はどうなのか。

答 勤務時間内に市民への福祉対応で外勤となる関係で残務整理が生じたり、定期的に業務が重なるというようなこともあり、時間外勤務で対応している状況です。

〔議案第五号〕

問 神栖市の介護保険料はどれ位なのか。

答 介護保険料の基準額は三千八百八十円ですが、全国平均の保険料は

四千六百十円となっております。なお、現在の介護保険認定者は二千八十人です。

教育環境委員会

(長谷川治吉 委員長)

〔議案第六号〕

問 議会の議決を経なければ流用することのできない経費にはどのようなものがあるのか伺いたい。

答 地方公営企業法の中で定められている経費には、職員給与費、交際費があります。

問 議案書の数字の一部訂正は、単純なチェックミスによるものなのか伺いたい。

答 貸借対照表中の資本の部、当年度未処分利益剰余金の記載誤りによるものです。

問 水道布設の要望の件

数について伺いたい。

答 波崎地域は十八行政区、神栖地域は十四行政区から要望が提出されています。

問 水道布設の整備年度は計画されているのか伺いたい。

答 波崎地域については、メインとなる配水管の布設を重点的に行っており、それが出来次第順次それにそって地区の整備をしております。

都市産業委員会

(五十嵐清美 委員長)

〔議案第四号〕

問 本議案は、十一月三十日の臨時会での給与条例議決を前提にした内容を、定例会の議案として、臨時会開催前に議員に配付しているが問題なのか。

答 配付させていただきましたのは臨時会の開催前でありましたが、定例会の議案としては、十二月十四日の定例会開会日提出ということになります。

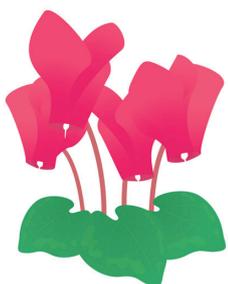
しており、それにより維持管理をしております。

問 どのような私道でも受領するのか。

答 「神栖市私道の寄附受領基準」に規定する基準に該当する私道について受領しております。

問 旧県道については移管を受けないのか。

答 道路敷に民地がある場合には、受け入れておりません。



平成22年神栖市議会・第2回臨時会

神栖市議会は、平成22年第2回臨時会を11月1日の会期1日間の日程で開き、契約の締結に関するもの1件の審議を行いました。

議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	工事請負契約の締結について ・ 神栖市立神栖第三中学校校舎改築工事	原案可決

会議の経過

○11月1日（月）

議会運営委員会

（議案の取り扱い等）

午前9時30分開会宣告

午前9時35分閉会

9人中9人出席

本会議

（開会・市長提案理由説明

・質疑・討論・採決）

午前10時開会宣告

午前10時23分閉会

26人中24人出席

平成22年神栖市議会・第3回臨時会

神栖市議会は、平成22年第3回臨時会を11月30日の会期1日間の日程で開き、条例に関するもの1件の審議を行いました。

議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	神栖市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決

会議の経過

○11月30日（火）

議会運営委員会

（議案の取り扱い等）

午前9時30分開会宣告

午前9時35分閉会

9人中9人出席

本会議

（開会・市長提案理由説明

・質疑・討論・採決）

午前10時開会宣告

午前10時28分閉会

26人中24人出席

茨城県市議会議長会講演会及び議員研修会

平成23年1月21日、ひたちなか市において、茨城県市議会議長会主催の講演会が開催されました。元三重県知事 北川正恭氏による「地域主権の動向と地方議会の役割」について受講しました。神栖市議会からは、長谷川隆議長、野口一洋議員、五十嵐清美議員、遠藤貴之議員が出席しました。

平成23年1月28日、土浦市において、茨城県市議会議長会主催の議員研修会が開催されました。講師は、弁護士の三瀬頭氏で「明るいまちづくりをめざして」の演題について受講しました。神栖市議会からは、研修議員として、長谷川隆議長、神崎清議員が出席しました。



委員会が行政視察を実施

地域振興について視察＝総務企画委員会

総務企画委員会は、10月28日から29日の日程で、静岡県御殿場市の「市民交流センター」について、三島市の「街中がせせらぎ事業」についての行政視察を行いました。

市民交流センターは、「市民交流」「高齢者支援」「児童育成」などの5部門で構成されており、幼児から高齢者までの幅広い世代の市民が利用していました。また、様々な障害のある人に配慮したユニバーサルデザインとし、多目的トイレや映像・音声案内を設けるなど、総合福祉機能を有する初の複合施設として建設しました。

三島市では、中心市街地にある歴史、文化、水辺や緑の自然環境といったアメニティ資源を活用し、それをネットワークする回遊ルートを整備することにより、周辺を快適な空間に造り上げ、「歩きたい街」「住みたい街」を目指す魅力ある地域づくり事業として、地域活性化に積極的に取り組んでいました。



老人福祉について視察＝健康福祉委員会



健康福祉委員会は、10月28日から29日の日程で、宮城県富谷町の「老人福祉について」の視察を行いました。

富谷町では、県から提案された入居者一人ひとりがよりその人らしい時間を過ごせるような入居者中心の「ユニットケア」の手法を取り入れ、平成13年6月に宮城県初の全室完全個室の特別養護老人ホームを開所しました。

施設では、一方的なサービス提供型の従来ケアではなく、自立支援や家庭的な生活支援を行っていました。

環境行政について視察＝教育環境委員会

教育環境委員会は、10月19日から20日の日程で、山梨県山梨市の次世代エネルギーパーク計画についての視察を行いました。

山梨市では、平成17年度に「地域新エネルギービジョン」を策定し、平成20年6月には「次世代エネルギーパーク計画」が経済産業省の認定を受けています。市内全域をフィールドとして、バイオマス・小水力・太陽光などの新エネルギーの導入計画を総合的に展開し、エコツアーや環境教育を推進することにより、多様なバイオマス資源と自然エネルギーを市域各所で有効活用していく事業に取り組んでいました。



商工観光行政,農業行政について視察＝都市産業委員会

都市産業委員会は、11月4日から5日の日程で、福島県喜多方市にて「農商工連携の取り組み」及び「観光行政」について、視察を行いました。

農商工連携の取り組みについては、プロジェクト会議を立ち上げて実現性のある案件の発掘や、県の支援を受けるための支援等を行っており、また、市独自の支援制度を設けたりして、地元産農産物を使用した商品が開発される等の成果をあげていました。観光行政については、高速交通網の整備、観光宣伝の推進により観光客数が伸びてきているところですが、観光案内所を設置し、ボランティアガイドを充実させるなど、さらなる受け入れ態勢の整備を進めていました。



議会運営に関する事項について視察＝議会運営委員会

議会運営委員会では、10月13日から14日の日程で長野県・佐久市議会において、議会運営に関する事項について行政視察を実施しました。



佐久市議会では、平成17年に1市2町1村で合併した後、議会改革研究会を設置して、議員定数等について検討を行い、人口が10万人を超えている同市での法定定数は34人ですが、平成20年に条例改正を行い議員定数を28人にしていました。

また、一般質問は本年に一問一答方式に変更しており、議会中継については、ケーブルテレビによる中継を行っていました。

教育環境委員会が現地視察調査を実施

教育環境委員会では、12月17日に所管事務調査として、波崎西小学校及び波崎第3中学校を現地視察しました。波崎西小学校では、平成22年11月30日に完成した施設の見学及び改築工事の概要等について説明を受け、波崎第3中学校では、耐震補強及び改修工事の概要（進捗状況87.5%）について説明を受けました。



市議会のうごき

(平成22年12月～平成23年2月)

12月

- 1日 議会運営委員会
- 14日 第4回定例会開会
議員協議会
- 15日 一般質問
- 16日 議案質疑
- 17日 常任委員会
- 24日 議会運営委員会
都市産業委員会
第4回定例会閉会

1月

- 7日 新年賀詞交歓会
- 9日 成人式典
- 10日 消防出初式
- 20日 茨城県市議会議長会理事会
・定例会
- 21日 茨城県市議会議長会講演会
- 25日 県東市議会議長会行政視察
- 26日
- 28日 茨城県市議会議長会議員研修会

2月 (予定)

- 2日 市議会だより編集委員会
- 11日 かみず市民フォーラム
- 18日 レスポシブル・ケア
(地域対話集会)
- 20日 国際交流フェスティバル
- 22日 全国市議会議長会建設運輸委員会

次回の3月議会予定

期日	曜日	議会日程(案)
2日	(水)	本会議(開会, 提案理由説明)
3日～4日	(木)～(金)	本会議(一般質問)
5日～6日	(土)～(日)	休会
7日～8日	(月)～(火)	本会議(議案質疑)
9日	(水)	休会
10日～11日	(木)～(金)	休会(各常任委員会)
12日～13日	(土)～(日)	休会
14日～16日	(月)～(水)	休会(議事整理)
17日	(木)	本会議(委員長報告, 討論, 採決, 閉会)

表紙写真を募集します

神栖市内の風景等の写真を募集しますので、写真の提供をぜひ
よろしくお願いいたします。

●問い合わせ Tel 0299-90-1172 (議会事務局)

お知らせ

左の予定表は平成23年第1回定例会(3月)の議会予定です。変更になる場合がありますので議会の傍聴を希望される方は事前に事務局にご確認をお願いいたします。

インターネットによる議会(本会議)の生中継を第4回定例会から開始しました。市議会ホームページからご覧下さい。

年賀のごあいさつなどの禁止について

公職選挙法により、議員個人の年賀状などのあいさつ状の差出、年賀のごあいさつは原則禁止されておりますのでご了承ください。市民の皆様方のご理解、ご協力の程をよろしくお願い致します。

小山 茂雄 議員が1月13日付で議員辞職されました。

編集後記

今回は平成二十二年第四回定例会を内容とした「かみず市議会だより」第二十四号をお届けします。第四回定例会から、本会議のライブ中継を開始し、リアルタイムで会議の様子を皆様にお伝えすることができるようになりました。本紙も、充実した紙面づくりをはかっていますので、よろしくお願いいたします。

(遠藤 貴之)

〒314-0192
神栖市溝口四九九一五
神栖市議会事務局
電話〇二九九一九〇一二七二
(直通)

神栖市議会だより編集委員会
委員長 遠藤 貴之
副委員長 野口 文孝
委員 大槻 邦夫
" " " 佐藤 節子
" " " 五十嵐 清美